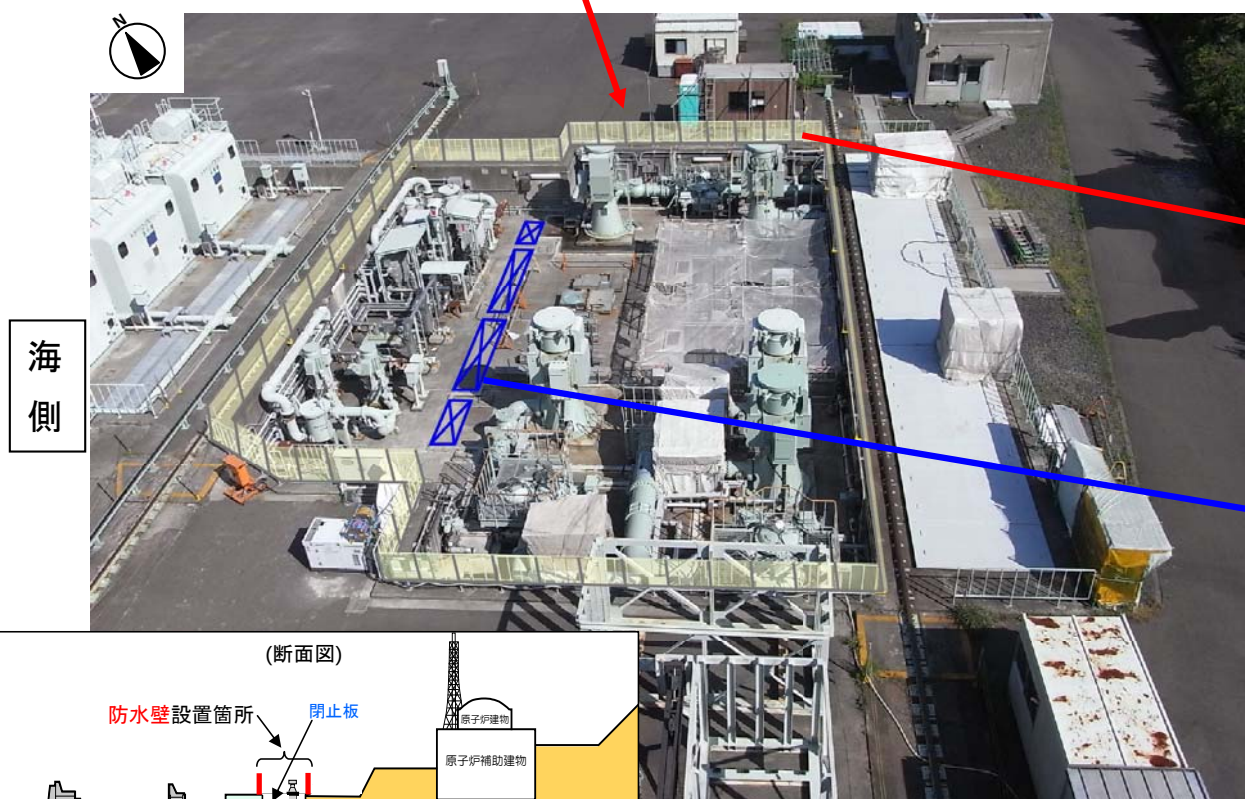
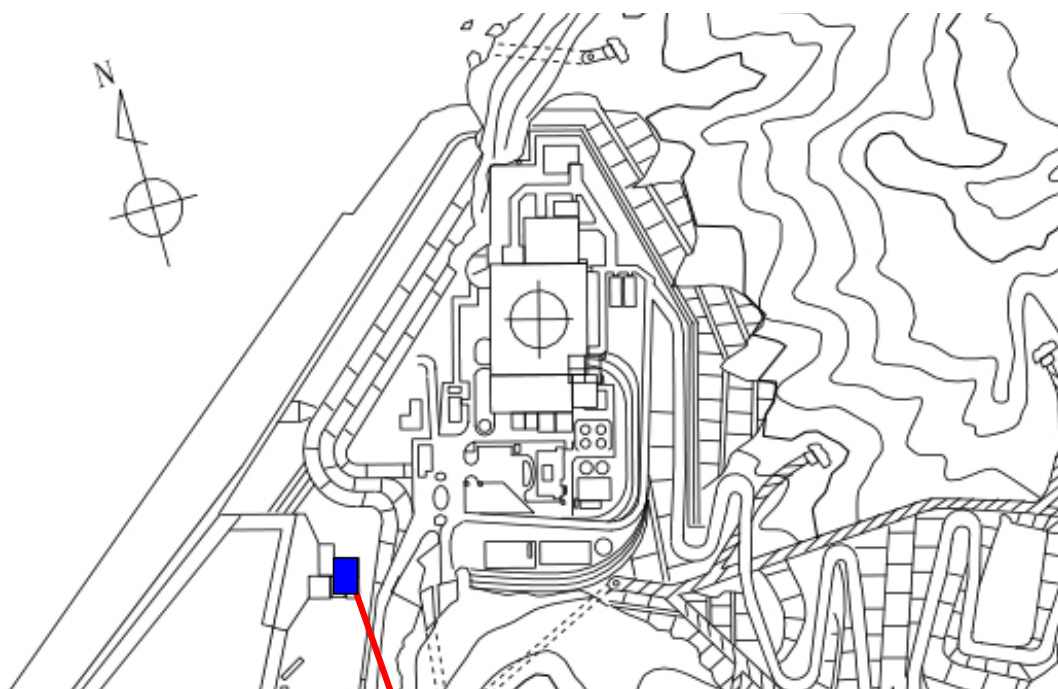


取水口ポンプ室の津波対策

耐震安全性評価では、満潮時の津波による水位上昇は、港湾の敷地レベルより低いと評価されており、干潮時の津波による水位低下についても海水ポンプの取水レベルより低下することがないと評価されている。現状においても、安全性は確保されているが、万一、港湾から海水が溢れたとしても、その海水が海水ポンプを設置している取水口ポンプ室に流れ込まないように、防水壁を設置するとともに、取水口ポンプ室内のグレーチング開口部をボルト固定の鉄板で閉止する。



防水壁

* 現行の転落防止用の手すりを防水壁に交換

閉止板

* 現行のグレーチング（格子状のふた）を閉止板（鋼板）に交換し、ボルトにより固定する。

(断面図)

防水壁設置箇所

閉止板

原子炉建物
原子炉補助建物

取水口ポンプ室

護岸

取水口

(対策概念図)